

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）北見林業土木協会

活動内容	「ワッカ原生花園」付近の環境整備を実施
	<p>1 実施年月日 : 平成30年9月20日(木)</p> <p>2 実施場所 : 北海道北見市所町栄浦 網走中部森林管理署管内 サロマ湖畔自然休養林</p> <p>3 参加会員数 : 網走中部森林管理署、北林会、森林林業振興会等、約30名 (当協会: 15企業、事務局 延べ17人)</p> <p>4 活動内容 : 網走中部森林管理署は、約11万haの国有林を管轄していますが、オホーツク海とサロマ湖に挟まれた砂州には「サロマ湖自然休養林」が設定されています。また、この地域にはハマナスやサンゴ草など、オホーツク特有の植物が生育しているため、「ワッカ原生花園」が設定されています。 ここには、以前に緑化植物としてイタチハギが導入されましたが、繁殖力が非常に強いため、生態系の維持や景観確保、一部では歩行にも支障となっています。 このため、森林管理署では、平成22年度からイタチハギの駆除に取り組んでおり、当協会も他の団体と共に、ボランティアでこの活動に協力してきました。 当日は、参加者は手分けして、原生花園の中でイタチハギを手作業で刈り取ったり、サロマ湖公園線沿道でのゴミ拾いを行いました。 刈り取ったイタチハギは昨年同様、大量でしたが、すぐにはイタチハギを撲滅できないため、当協会は今後ともこの活動に協力していく考えです。 なお、この活動の様子は、地域の専門紙にも掲載されました。</p>
活動写真	
	  <p data-bbox="619 1552 944 1579">イタチハギの刈り取り作業</p>   <p data-bbox="600 1984 928 2011">道路沿線でのゴミ拾い作業</p>